

アンケートを提出して きました！

学生の声を

受け取ったのは、史上初！



学生の声で、力で、受け取らせた！

1月24日、私たちは、アンケート40枚を学生支援課に提出し、学生支援課の職員は受け取りました。学生の声を学生支援課が受け取る。当たり前のように思えますが、これは赤嶺委員長が2013年に入学して以来初めてのことです。

2014年4月、沖大で突然にビラまき禁止の学則がつけられたのに対して「禁止にした理由を教えてほしい」という赤嶺委員長の質問状が受け取りを拒否されて以来、あらゆる申し入れ書が受け取られてきませんでした。しかし、今回は、史上初めて学生の声を受け取らせました！

こういう常識を変えるような事態というのは、テスト前や日々忙しい中、沖大生がアンケートを真剣に書いて、声をあげたことが大きいです。大学の主人公である学生が声をあげ、動き始めたということが今回の勝利を切り開きました！

まだ終わらない。学生の声が形になるまで！

しかし、学生支援課の職員は「受け取って検討してみる」と言っていますが、まだまだ不透明な点が多いです。学生の声をちゃんと受け止めるのか、アンケートの内容をどう審議するのかなどあいまいなことが多いです。

僕らは、これで終わるつもりはありません。学生の声の形になるまで、出したアンケートがどうなるか、何回も聞きに行き、形になるまであきらめずやっています。その都度、みなさんと共有しながら、これからもやっていきたいと思っています。皆さんこれからも一緒によろしくお願いします。